

### ダニ媒介性の感染症について

静内診療所 川越美琴

ここ数年で手術に来院した馬にダニがついていることが増えたと感じています。重症熱性血小板減少症候群（SFTS）なども、発生地が北上していること、また獣医師がネコを介して感染し、死亡したことで話題になりました。昨年秋のよもやま話でマダニについての記事がありましたが、今回はダニが媒介する人の感染症を紹介します。

#### ●北海道における人のダニ媒介性感染症

疾患名	症状	発地域	近年の発生頻度
ライム病	発熱/遊走性紅斑/筋肉痛	北海道全域	毎年20人程度
回帰熱	発熱/頭痛/筋肉・関節痛	北海道全域	毎年20人程度
エゾウイルス感染症	発熱/消化器症状/筋肉痛	道央	毎年2人程度
ダニ媒介性脳炎	発熱/けいれん/麻痺	道央/道南	毎年0～2人程度
SFTS	発熱/消化器症状	九州、西日本	道内未発生

#### ●ダニに咬まれないために

- ・ダニの活動する春から秋にかけて、草むらに入る際は長袖・長ズボン・長靴を着用し、ズボンの裾は長靴の中に入れてみましょう。
- ・DEET（ディート）という成分を含む虫除け剤は寄ってくるダニの数を減らすことができます。
- ・屋外活動後はすぐに入浴し、ダニに咬まれていないか確認してください。咬まれた直後は痛みやかゆみなどがなく、気づかないことも多いと言われています。
- ・馬、イヌ、ネコについたダニは除去しましょう。ダニ駆除薬もありますので獣医師に相談してください。
- ・ダニはシカ、キツネ、ウサギ、ネズミ類によって運ばれます。なるべく野生動物が放牧地や厩舎に入らないよう工夫しましょう。

#### ●ダニに咬まれてしまったら

- ・吸着後、早期であれば、ピンセットなどでダニの口器をつまんで引き抜くことで除去できます。吸着したダニの腹部を指でつまむとダニの体液が皮膚内に流入してしまいます。
- ・吸着後3日以上が経過すると、マダニの口器が皮膚と接着して除去が困難になります。無理に引っ張ると、皮膚内に口器がちぎれて残るため、医療機関（皮膚科）などで除去を依頼してください。
- ・ダニに咬まれた後は、2週間、体調の変化に注意して、発熱・嘔吐などの症状が認められた場合は医療機関（内科）などで診察を受けてください。

馬の健康維持もひとえに飼養者の日々の努力あってこそです。

暑い日々が続き免疫力も落ちているかと思いますが、体調に気を付けてお過ごしください。